

令和 7 年度（第 1 回）
福岡市総合図書館運営審議会

日 時：令和 7 年 8 月 5 日（火）

午後 2 時

場 所：福岡市総合図書館 3 階 第 1 会議室

〔 次 第 〕

議題

- ・福岡市総合図書館ビジョン（第 2 次）の素案について

福岡市総合図書館運営審議会委員名簿（令和７年６月２６日現在）

委嘱区分	氏 名	役 職 名
学校教育 関係者	大田 豊美	福岡市立北崎小学校校長
	吉武 光洋	福岡市立照葉小中学校校長
	星子 奈美	九州大学附属図書館 利用者サービス課図書館専門員 (学術サポート室担当)
社会教育 関係者	倚松 満	福岡市七区男女共同参画協議会代表
	貞包 俊晴	福岡市公民館館長会 副会長
	上村 篤子	福岡市社会教育委員
家庭教育 関係者	白川 義人	福岡市ＰＴＡ協議会 副会長
読書活動 団体関係者	西 聡子	福岡おはなしの会代表
学識 経験者	矢崎 美香	九州女子大学人間科学部 元准教授
	白根 恵子	佐賀女子短期大学 名誉教授
	藤村 興晴	BOOKUOKA実行委員会 委員・事務局長
	脇山 真治	九州大学 名誉教授
本市の 住民	田中 優	公募委員
	藤 政江	公募委員

任期：令和８年７月８日まで

福岡市総合図書館ビジョン(第2次) (素案)

令和7年 8 月
福岡市教育委員会

令和7年8月5日開催
令和7年度第1回 福岡市総合図書館運営審議会 資料

－ 目 次 －

1 策定の趣旨		1
2 策定の背景		2
3 ビジョンの枠組み		3
4 これまでの取組		4
5 福岡市総合図書館の課題		5
6 基本理念		7
7 図書館像と基本方針		8
図書館像1 みんなにつなげる		8
～誰もが本との楽しい時を過ごせる図書館		
図書館像2 知識につなげる		9
～さまざまな知的好奇心に応える図書館		
図書館像3 夢につなげる		10
～子どもの豊かな心を育み、支える図書館		
8 第2次ビジョンの推進に向けて		11
参考 体系イメージ		12
資料編 令和6年度市政に関する意識調査(図書館)		13

1 策定の趣旨

福岡市総合図書館は、平成 26 年 6 月に「福岡市総合図書館新ビジョン」（以下「第 1 次ビジョン」という。）を策定し、「市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる、新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館」を目指し、様々な施策を推進してきました。

その間、分館の新設や改築、貸出・返却サービス拠点の新設など読書環境の拡充・整備を進めるとともに、開館時間の延長や開館日数の拡大など利便性向上に努めてきました。

一方、計画期間中には新型コロナウイルス感染症拡大による休館やイベント開催の制限など、未曾有の事態により図書館活動の制限が余儀なくされる時期もありました。

第 1 次ビジョンの策定から 10 年以上経過する中、少子高齢化や国際化等の社会環境の変化やデジタル技術の進化による ICT 化など、図書館を取り巻く環境が大きく変わってきています。

社会情勢の急激な変化に柔軟に対応し、未来にわたって市民一人ひとりの生活の質の向上に寄与するため、これまでの取り組みを振り返りながら課題を整理した上で、今後目指すべき福岡市総合図書館のあり方を定める福岡市総合図書館ビジョン（第 2 次）（以下「第 2 次ビジョン」という。）を策定します。

この第 2 次ビジョンに基づき、福岡市総合図書館は、先人より託された、無限に伸びる知恵や知識、情報や文化の集積体としての役割、心の輝きや新しい文化を創る場となる公共図書館、生涯学習施設としての役割を活かしながら、本市が目指す「市民一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく活躍できる社会の実現」に寄与し、幅広い可能性と希望に満ちた市民生活の未来へとつなげるため、市民の皆さんに生涯にわたって気軽に利用してもらえる図書館づくりを進めていきます。

2 策定の背景

【本市の動き】

(1) 「第10次福岡市基本計画」

(計画期間:令和7(2025)年度から令和16(2034)年度まで)

令和6年12月、福岡市は「第10次福岡市基本計画」を策定し、「福岡市基本構想」に掲げる都市像の実現に向けた方向性を、まちづくりの目標や施策として総合的・体系的に示しました。

分野別目標として「目標1:一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく輝いている」「目標2:すべての子ども・若者が夢を描きながら健やかに成長している」などが掲げられています。

(2) 「第3次福岡市教育振興基本計画」

(計画期間:令和7(2025)年度から令和11(2029)年度まで)

令和7年6月、福岡市教育委員会は「第3次福岡市教育振興基本計画」を策定し、指針としてこれからの福岡市の教育が進むべき方向性を示しました。

(3) 「福岡市子ども読書活動推進計画(第4次)」

(計画期間:令和5(2023)年度から令和10(2028)年度まで)

令和5年3月、福岡市教育委員会は「福岡市子ども読書活動推進計画(第4次)」を策定し、福岡市における子どもの読書活動推進に関する基本的な考え方や施策の方向性を示しました。

(4) 「福岡市文化芸術振興計画」

(計画期間:令和元(2019)年度から令和10(2028)年度まで)

令和元年6月、福岡市は「福岡市文化芸術振興計画」を策定し、教育、福祉、国際交流、観光、産業、まちづくり等の各関連分野との連携を図りながら、本市文化芸術振興を推進していく、基本的な考え方や施策展開の方向性を示しました。

施策方針として「地域の歴史文化等の保存・継承」「文化芸術を通じた交流・融合による新たな価値の創出」などが掲げられています。

【国の動き】

(1) 「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成24年12月19日文部科学省告示第172号)

平成 24 年 12 月、「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が全面改正され、私立図書館が対象とされたほか、これからの図書館運営に必要な新たな視点や方策などが示されました。

(2) 「図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議」の開催

令和 6 年 12 月から「図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議」において、家庭、地域、学校等の連携・協力により、社会全体で読書環境を充実させることについて、検討が進められています。

(3) 「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)

令和元年 6 月、同法の施行により、障がいの有無に関わらず、全ての国民が等しく読書を通じて、文学・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現に向けて、国や地方公共団体は、視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する施策を策定・実施することとなりました。

3 ビジョンの枠組み

(1) 第2次ビジョンの位置付け

第 1 次ビジョンと同様に、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成 24 年 12 月 19 日文部科学省告示第 172 号）」に規定される「図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針」として策定するものです。

また、第 2 次ビジョンは、福岡市政全般にわたる「第 10 次福岡市基本計画」との整合性を図るとともに、子どもや文化など関連する各分野の個別計画や施策と連携を図りながら、取り組みを推進していきます。

(2) 取組期間

令和 8（2026）年度から令和 17（2035）年度までの 10 年間とします。

4 これまでの取組

(1) 福岡市新図書館基本計画(平成3年2月～)の下での取組

福岡市総合図書館は、「市民に開かれた図書館として、市民ニーズに的確に応える生涯学習社会の中核的役割を果たしていく」という基本方針に従って、平成8年6月、早良区百道浜に図書資料部門、文書資料部門及び映像資料部門の3部門で構成され、映像ホールなどを併設する新しい型の図書館として開館しました。開館にあたり、各区市民センター図書室を「分館」と位置づけ、分館とネットワークを結ぶ「総合図書館オンラインシステム」を稼働しました。

その後、市内大学との相互貸借の開始、ICタグの導入、インターネットや検索機での予約受付、交通結節点である地下鉄駅等への返却ポストの設置など、図書館サービスの充実に努めました。

(2) 第1次ビジョン(平成26年6月～)の下での取組

第1次ビジョンの下、図書館イベントの充実、団体貸出先の拡大、古文書資料のデジタルデータ化などに着実に取り組んできました。また、分館の移転・新設整備や、市内商業施設等への返却ポストの設置を進めたほか、開館時間の拡大、電子図書館やデジタル貸出カードをはじめとしたICT技術を活用したサービスの充実など、利便性のさらなる向上に努めてきました。

- 平成26年 無線LAN サービス供用開始
- 平成27年 学校図書館支援センター開設
市民福祉プラザとの相互返却サービス開始
- 平成28年 総合図書館（建物管理・運営のみ）に指定管理者制度導入
東図書館移転開館・指定管理者制度導入／一部開館時間の拡大
科学館で貸出・返却サービス開始／SNS やメルマガによる情報配信開始
- 令和2年 アイランドシティセンターマークスゲートに図書返却ポスト設置
- 令和3年 電子図書館開館／アジア映画等貸与事業開始
早良南図書館開館・指定管理者制度導入
- 令和4年 南図書館改築開館
- 令和5年 「ふくおかサポート」のサービスとして「デジタル貸出カード」開始
- 令和6年 図書館システム更新時に蔵書探索AI、ウェブ書棚など新機能導入
総合図書館内学習室座席にオンライン予約導入

5 福岡市総合図書館の課題

前述のとおり様々な施策を推進してきたところですが、第2次ビジョンの策定にあたり、これまでの取組についての総合図書館運営審議会や総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議等の意見、令和6年度市政に関する意識調査（以下「意識調査」という。）などを踏まえ、福岡市総合図書館の課題を次のとおり整理しました。

(1) 誰もが利用したくなる、快適な図書館づくり

- 情報化の急速な進展とコロナ禍を経て、インターネットを介した様々な行動の変化や紙媒体出版物の市場規模縮小が顕著に見られ、個人貸出冊数や貸出利用者数の減少傾向の改善は難しい状況です。
- さらなる利便性向上と身近な場所での読書環境整備のため、貸出・返却拠点の拡充や新たな分館の設置、身近な場所で本に親しめる拠点として公民館をはじめとする地域団体等への支援が求められています。
- 総合図書館には「福岡市立点字図書館」を併設しており、点字図書等の貸出や対面朗読サービスの提供などが行われておりますが、総合図書館においても、心身の障がいのある方、高齢者、日本語を母語としない方などに対して、図書館を利用しやすくするための合理的配慮が必要とされています。
- 子ども向けのイベントのほか、誰でも参加できる体験講座等幅広い層に向けたイベントを充実させるなど、これまで図書館を利用してこなかった市民でも、年代を問わず気軽に図書館に立ち寄ったり、興味を持てたりするような様々なきっかけづくりを行う必要があります。
- 総合図書館や分館が入る市民センターの大規模改修時期に合わせて、機能向上などのリニューアルに取り組む必要があります。

(2) 図書館機能・サービスの向上

- 意識調査によると、「図書館を魅力的にするための充実が必要なサービスや設備」について、「本の品揃え」に対するニーズが高く、選書にあたる職員の幅広い知識の習得、情報収集能力、市民ニーズの把握など、効率的かつ公共図書館としてバランスの取れた図書資料の収集が求められています。
- レファレンスサービスの認知度は、図書館利用者においても4割程度と低いため、レファレンス事例の紹介などによる効果的なサービスの周知・PRが必要とされています。

- 課題解決型サービス機能の充実に向け、利用者の課題や問題を的確に捉える能力が図書館に求められていることから、職員の資質向上を図る専門研修や他館との情報共有などが必要です。
- 図書資料部門のほか、文書資料部門・映像資料部門を有する総合図書館では、歴史的・文化的価値を有する公文書、行政資料、古文書、郷土資料、文学資料、映像資料を収集・整理保存するとともに資料のデジタルデータ化を始めており、各部門と連携した資料の積極的な活用や情報発信を行っています。また、劣化が進んだ文書資料については、デジタルデータ化を進めることが急務となっていますが、膨大な資料は維持管理費も含め多大なコストもかかるため、長期的な視点をもって保存と活用のあり方を検討する必要があります。
- 福岡市総合図書館は国内で2か所しかない国際フィルムアーカイブ連盟（FIAF）加盟施設であり、映像資料の整理保存と活用については、フィルムによる長期保存のため、技術の継承や上映機器等の長寿命化が課題となっています。
- ICT化・DX化による利用者サービス向上に努めていますが、意識調査によると、電子図書館の利用は2.4%のみで、普段図書館を利用しない層では、電子図書館及びデジタル貸出カードについて8割以上で認知されていません。世帯普及率が9割に至るとされるスマートフォンは社会インフラとなっており、今後も、ICT化を活かしてサービスの向上を図るとともに、効果的な周知・PRが必要とされています。

(3) 子どもの読書活動の支援

- 子どもの読書習慣形成のため、年齢や特性等による発達段階に応じた読書活動を支援するとともに、「福岡市子ども読書活動推進計画（第4次）」に基づき、家庭・地域や学校と連携した取り組みを進めることが必要とされています。幼児・小学校低学年から高学年など各年齢層に応じた本の紹介リストの配布などの取組を進めていますが、そうした本との出会いを確保できるよう、子どもたちの利用しやすい蔵書の充実が必要となっています。
- 子どもたちにとって身近な学校図書館を充実させるため、離島や特別支援学校、経験が少ない学校司書の配置校などへの支援が一層求められており、それに応える学校図書館支援センターの体制づくりが必要とされています。特に、読書離れが進む中学校への支援対策が課題となっています。

6 基本理念

「未来へつなげる知のひろば」

福岡市総合図書館は、図書資料や文書資料、映像資料を市民の共有財産として維持管理するとともに、その豊富な蔵書や資料、情報により、読書の楽しみを提供し、市民の学びや暮らし、地域の活動、社会における課題解決を支援するなど、多様な市民ニーズに応えていく責務があります。

一方で、時代の変化とともに図書館へのニーズは、さらなる利便性の向上や国際化に伴う多文化共生、幅広い世代に向けた生涯学習の場の提供など多岐に渡ります。

また、「第10次福岡市基本計画」では、年齢や性の違い、国籍、障がいの有無などに関わらず、市民一人ひとりが、それぞれの知識や経験を生かし意欲的に社会参加するとともに、文化芸術などを身近に感じ、気軽に楽しみながら心豊かに暮らすことができるまちづくりに取り組むことが示されています。

福岡市総合図書館は、生涯学習施設、公共図書館として、近年のデジタル化、少子高齢化の急速な進展などの社会情勢の変化に柔軟に対応していきます。

取組を通じて、「市民一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく輝いている社会」「すべての子ども・若者が夢を描きながら健やかに成長している社会」の実現に寄与し、幅広い可能性と希望に満ちた市民生活の未来へとつなげるため、市民にとって、生涯にわたって気軽に利用でき、多様な「知りたい」に応える「知のひろば」を目指します。

7 図書館像と基本方針

基本理念実現に向けた3つの図書館像及び8つの基本方針を、現状の課題を踏まえ以下に示します。

図書館像1 みんなにつなげる～誰もが本との楽しい時を過ごせる図書館

《基本方針1》 誰もが利用しやすいサービスの提供

- ・ それぞれの目的に応じて図書館を利用する市民一人ひとりが過ごしやすい、包摂的な環境づくりに配慮します。
- ・ 読書バリアフリーの観点を踏まえ、年齢、言語、障がいの有無などにかかわらず、誰もが楽しめるサービスや図書資料の充実を図ります。
- ・ 身近な場所で本の利用ができるように団体貸出の拡充や、さらなる利便性の向上のため、貸出・返却拠点の拡充を図るとともに、新たな地域交流センター整備計画に合わせた分館設置を検討していきます。

《基本方針2》 居心地のよい空間づくり

- ・ 訪れた市民がくつろいだ時間を過ごせるように、総合図書館のエントランスホールや正面玄関前広場等を活用した幅広い層に向けたイベント等の開催などハード面・ソフト面のサービスの充実や工夫を図ります。
- ・ 総合図書館は令和8年度で開館後30年が経過し、今後本市アセットマネジメント基本方針を踏まえた大規模改修時期を控えています。現在の施設設備面の課題や改修・休館中の運営体制等を整理し、長寿命化に備えるとともに、市民にとってより便利・快適でかつ環境への負荷低減に配慮した施設になるようリニューアル方針を検討します。
- ・ 市民センターの大規模改修に合わせた分館のリニューアルに取り組み、誰もが訪れ利用したくなる魅力のある図書館づくりを検討します。

【具体的な取り組み】

- ・ やさしい日本語などを活用したサービスの充実
- ・ 身近で利用できる団体貸出の拡充
- ・ 来館したくなるイベントの開催
- ・ 総合図書館の大規模改修や分館リニューアル、新設時におけるレイアウトの最適化検討

図書館像2 知識につなげる～さまざまな知的好奇心に応える図書館

《基本方針3》 図書資料・情報の幅広い収集・保存

- ・ 公共図書館として、市民一人ひとりの学びを支え、幅広い知的好奇心に応えるため、様々な分野での図書資料の着実にバランスのとれた収集・保存に努めます。

《基本方針4》 レファレンスサービスの充実

- ・ 新たな学びや感動を伝え、共有するため、効果的な ICT 技術の活用等を検討しながら、市民と本をつなげるため、レファレンスサービスの充実や周知強化を図ります。

《基本方針5》 デジタル化によるサービスの向上

- ・ 利用者のニーズを踏まえたデジタル化を引き続き推進するとともに、貴重な保有資料を過去から未来につなげるために、これまでの図書館の良さを活かしつつ、デジタルアーカイブやオープンデータ化、AI 技術の活用など、技術の進歩を取り入れながら、利用者サービスの向上に努めます。

《基本方針6》 文書資料、映像資料の収集・保存と活用

- ・ 歴史的・文化的価値のある文書、郷土の歴史や暮らしを伝える資料・文学資料などの収集・保存を行うとともに、講座などにより市民への周知を図ります。
- ・ アジア映画を中心とした国内外の貴重な映像資料等を収集・保存するとともに、上映・展示の工夫やトークイベントの開催などにより、市民が映像資料に親しみをもち、多文化理解や社会問題への理解の一助となるよう取り組みます。

【具体的な取り組み】

- ・ 資料収集の充実
- ・ 身近なレファレンスサービスの実施
- ・ 資料のデータベースおよびデジタルアーカイブの公開推進
- ・ 映画監督の講演、資料展示など直接触れ合う機会の提供
- ・ 研究者等による講座など学習機会の提供

図書館像3 夢につなげる～子どもの豊かな心を育み、支える図書館

《基本方針7》 子どもや保護者を対象とした取り組みの充実

～福岡市子ども読書活動推進計画（第4次）の推進～

- ・ 子どもの年齢や発達・特性などに応じた読書習慣の形成を支援し、将来にわたって一人ひとりがいつでも読書の楽しさに触れることができる機会の推進に取り組みます。
- ・ 乳幼児期から親子で本に親しむ機会が増えるとともに、安心して子育てができる環境となるように、地域との連携も図りながら、気兼ねなく子どもとともに参加し、参加者同士が共感できるイベント等の実施に取り組みます。

《基本方針8》 学校図書館との連携強化

- ・ 子どもの成長や学びを支える教育環境の充実のため、学校図書館との連携を強化します。
- ・ 子どもの読書習慣を支える学校図書館に対して現場のニーズに即した支援を引き続き行うとともに、小中学校の1人1台端末を活用した電子図書館との連携に向けて検討し、さらなる読書活動の推進を図ります。

【具体的な取り組み】

- ・ 子どもや保護者と本をつなぐイベントの実施
- ・ 年齢層に応じた情報の発信
- ・ 学校司書の充実に合わせた支援
- ・ 電子図書館の学校との連携検討

8 第2次ビジョンの推進に向けて

(1) 事業計画及び成果指標

第2次ビジョンの着実な推進を図るため、各図書館像を実現するための、重点的に取り組む具体的な施策・事業については、「5年ごとの個別の事業計画」を別途策定します。

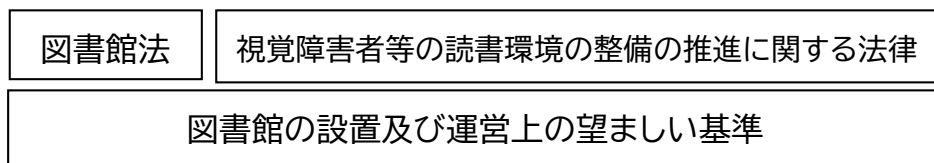
各事業計画においては、成果を分かりやすく示すため必要に応じて、成果指標及び数値目標を設定します。

(2) 事業の進行管理と評価

第2次ビジョンを着実に推進していくため、事業計画に基づき、年度ごとに図書館サービスや業務についての評価を行い、進行管理を行っていきます。

そのため、年度ごとに図書館サービスや業務について、利用者アンケートを実施しながら、内部評価を実施します。内部評価について意見を聴くため、「福岡市総合図書館ビジョン推進に関する点検評価会議」の中で、市民や有識者の視点を取り入れた外部評価を行い、結果を公表します。

○参考 体系イメージ



福岡市総合図書館ビジョン(第2次)

基本理念:未来へつなげる知のひろば

図書館像1 みんなにつなげる

～誰もが本との楽しい時を過ごせる図書館

基本方針1

誰もが利用しやすい

サービスの提供

基本方針2

居心地のよい空間づくり

図書館像2 知識につなげる

～さまざまな知的好奇心に応える図書館

基本方針3

図書資料・情報の幅広い収集・
保存

基本方針4

レファレンスサービスの充実

基本方針5

デジタル化によるサービスの向上

基本方針6

文書資料、映像資料の収集・整
理保存と活用

図書館像3 夢につなげる

～子どもの豊かな心を育み、支える図書館

基本方針7

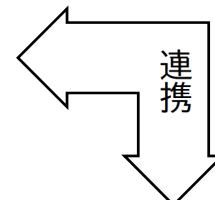
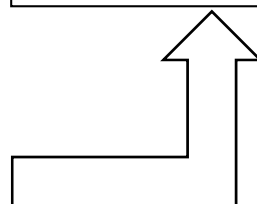
子どもや保護者を対象とした
取り組みの充実

基本方針8

学校図書館との連携強化

第10次福岡市基本計画

第3次福岡市教育振興基本計画



福岡市子ども読書活動推進計画(第4次)

福岡市文化芸術振興計画

資料編

○ 令和6年度市政に関する意識調査(図書館)

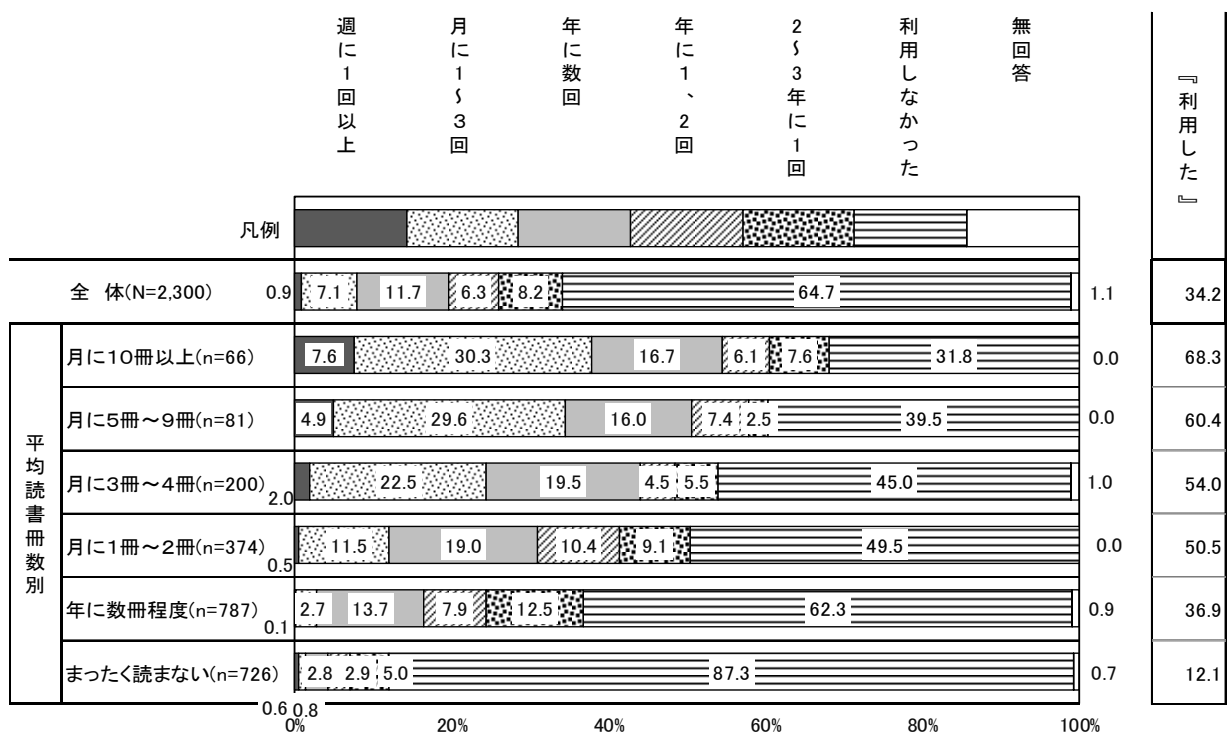
<調査概要>

- | | |
|-------------|--|
| ・調査項目 | : 「福岡市の住みやすさ」「図書館」「福岡市の保健福祉」 |
| ・調査対象者 | : 福岡市内に居住する満18歳以上の市民 |
| ・回収数／標本数(率) | : 2,300 サンプル／4,500 サンプル (51.1%) |
| ・調査期間 | : 令和6年6月21日～7月12日 |
| ・調査主体 | : 福岡市市長室広聴課 |
| ・調査結果 | : 令和6年度市政に関する意識調査結果概要(ふくおかボイス)
令和6年度市政に関する意識調査報告書 |

調査結果については、報告書が公表されているが、第2次ビジョンの検討にあたり、総合図書館としても、利用頻度別、性・年代別などの集計・分析を行ったもの。

【1 過去3年間の、福岡市立図書館の利用状況 <平均読書冊数別>】

- 『利用した』は34.2%で、うち「年に数回」が11.7%で最も多い。
- 「平均読書冊数」で「月1冊以上読む」場合は、50%以上が利用している。月の平均読書冊数が多いほど、図書館利用回数が多くなっている。また、「まったく読まない」場合でも12.1%が利用している。
- 福岡市総合図書館は「本を読むときに選ばれる図書館」とどまらず、「本を読まない人でも楽しめる図書館」として図書・文書資料・映像という多彩な機能を備えた図書館であることをPRすることが必要と考えられる。



【2 現在の頻度以上に利用しない理由、利用自体がない理由

＜利用頻度別、性・年代別＞】（複数回答、3つまで）

- 『利用しなかった』人で、その理由として「借りに行ったり、返しに行くのが面倒」が30.7%と最も多く、次いで「本を読まない」が23.0%、「仕事、勉強が忙しい」が20.1%である。気軽に本が借りられるように、利便性の高い場所への貸出返却窓口の設置を、引き続き検討していくことが重要である。
- 図書館を利用している人も利用していない人も、「本を購入している」割合は2割程度あるため、民間書店との連携も図書館利用の促進につながる可能性があるものと考えられる。

単位：％

	調査数	借りに行くと面倒	仕事、勉強が忙しい	本を購入している	家でゆつくりしたい	本を読まない	図書館までのアクセスが悪い	家事、育児、介護が忙しい	読みたい本がない	趣味、遊びが忙しい	読みたい本がすぐに借りられない	健康上の問題
全 体	2300	30.4	22.4	18.6	17.4	16.6	12.4	12.0	9.8	7.6	7.5	7.3
利用頻度別												
月1回以上 計	183	18.0	20.2	6.0	8.7	1.6	8.7	15.8	19.7	4.9	22.4	5.5
性・年代別												
男性 計	64	14.1	17.2	4.7	10.9	1.6	7.8	6.3	29.7	4.7	14.1	4.7
18～29歳	3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
30～59歳	27	22.2	25.9	3.7	0.0	0.0	11.1	14.8	25.9	3.7	18.5	0.0
60歳～	34	8.8	8.8	5.9	14.7	2.9	5.9	0.0	32.4	5.9	11.8	8.8
女性 計	117	20.5	22.2	6.8	7.7	1.7	9.4	21.4	13.7	4.3	26.5	6.0
18～29歳	5	60.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0
30～59歳	57	17.5	35.1	3.5	7.0	1.8	8.8	33.3	12.3	3.5	22.8	0.0
60歳～	53	18.9	5.7	9.4	7.5	1.9	11.3	9.4	13.2	3.8	34.0	13.2
2～3年に1回以上 計	602	34.4	29.4	22.3	15.6	5.5	13.3	16.6	15.3	10.0	13.3	5.5
性・年代別												
男性 計	230	30.0	30.0	21.3	19.6	7.0	10.9	11.3	17.4	9.6	10.0	6.5
18～29歳	32	21.9	43.8	3.1	31.3	15.6	18.8	6.3	18.8	9.4	0.0	0.0
30～59歳	105	30.5	36.2	20.0	15.2	8.6	7.6	19.0	17.1	6.7	10.5	1.9
60歳～	90	32.2	17.8	28.9	21.1	2.2	11.1	4.4	17.8	12.2	13.3	13.3
女性 計	367	37.1	29.4	22.9	13.1	4.6	14.7	20.2	13.9	10.1	15.5	4.6
18～29歳	39	33.3	43.6	15.4	12.8	10.3	23.1	0.0	17.9	20.5	12.8	0.0
30～59歳	209	36.8	36.8	22.5	13.9	3.8	11.5	28.2	14.8	5.3	16.3	1.9
60歳～	116	39.7	12.1	26.7	11.2	4.3	18.1	12.9	11.2	14.7	15.5	10.3
利用しなかった	1489	30.7	20.1	18.9	19.3	23.0	12.7	9.9	6.5	7.1	3.4	8.3
性・年代別												
男性 計	611	24.1	20.1	18.8	20.3	24.9	9.0	4.3	7.9	9.7	3.6	5.9
18～29歳	51	25.5	21.6	11.8	31.4	31.4	13.7	5.9	9.8	13.7	2.0	2.0
30～59歳	287	22.6	28.6	18.5	16.0	22.0	6.6	6.3	5.9	9.8	3.8	1.4
60歳～	265	25.3	10.6	21.1	22.6	26.8	10.9	1.9	9.8	8.7	3.8	11.7
女性 計	855	35.9	20.2	19.3	18.7	21.4	15.3	14.0	5.6	5.1	3.3	9.7
18～29歳	83	31.3	37.3	14.5	24.1	27.7	7.2	10.8	7.2	9.6	1.2	1.2
30～59歳	388	37.6	25.0	16.8	16.5	17.3	16.8	18.8	7.2	4.1	3.9	3.1
60歳～	375	35.5	11.5	22.7	19.7	24.0	15.7	9.6	3.7	5.3	3.2	18.7

		調査数	電子書籍を利用して	場所を知らない	駐車スペースが少な	最大限利用している （これ以上必要ない）	衛生管理がなされて	利用したい時に開い	子どもと一緒に行き	その他	特に理由はない	無回答	
全 体		2300	6.0	4.7	4.4	3.7	3.5	3.0	1.4	4.9	6.3	4.5	
利用頻度別	月1回以上 計	183	3.3	0.5	4.4	29.5	3.8	7.7	1.6	2.7	1.1	2.7	
	性・年代別	男性 計	64	6.3	0.0	6.3	34.4	1.6	4.7	0.0	3.1	3.1	4.7
		18～29歳	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～59歳	27	0.0	0.0	11.1	37.0	0.0	3.7	0.0	7.4	3.7	3.7
		60歳～	34	5.9	0.0	2.9	35.3	2.9	5.9	0.0	0.0	2.9	5.9
		女性 計	117	1.7	0.0	3.4	27.4	5.1	9.4	2.6	2.6	0.0	1.7
		18～29歳	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
		30～59歳	57	3.5	0.0	5.3	19.3	5.3	12.3	3.5	1.8	0.0	3.5
		60歳～	53	0.0	0.0	1.9	37.7	5.7	7.5	0.0	3.8	0.0	0.0
	2～3年に1回以上 計	602	7.8	0.3	7.5	4.5	3.5	3.5	1.3	5.5	2.0	4.8	
	性・年代別	男性 計	230	8.7	0.0	8.7	4.3	4.3	3.0	0.4	5.7	2.2	3.9
		18～29歳	32	12.5	0.0	0.0	9.4	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	6.3
		30～59歳	105	12.4	0.0	9.5	1.9	2.9	1.9	0.0	4.8	1.9	4.8
		60歳～	90	3.3	0.0	11.1	5.6	5.6	4.4	1.1	8.9	3.3	2.2
		女性 計	367	7.4	0.5	6.5	4.6	3.0	3.8	1.9	5.4	1.9	5.2
		18～29歳	39	0.0	2.6	0.0	5.1	0.0	5.1	0.0	5.1	0.0	5.1
		30～59歳	209	10.5	0.0	7.7	3.8	1.9	4.8	2.4	4.8	1.0	4.3
		60歳～	116	4.3	0.9	6.9	6.0	6.0	1.7	1.7	6.9	4.3	6.0
	利用しなかった	1489	5.6	7.1	3.3	0.3	3.5	2.1	1.4	5.0	8.6	3.7	
	性・年代別	男性 計	611	5.4	7.4	4.3	0.3	2.0	2.1	0.5	5.9	13.1	3.1
		18～29歳	51	7.8	11.8	3.9	2.0	2.0	3.9	0.0	7.8	3.9	2.0
		30～59歳	287	6.6	7.0	4.5	0.3	2.1	3.8	1.0	6.6	14.3	3.5
		60歳～	265	3.4	7.2	4.2	0.0	1.9	0.0	0.0	4.5	13.2	3.0
		女性 計	855	6.0	6.7	2.6	0.4	4.7	2.2	2.1	4.4	5.3	4.1
		18～29歳	83	10.8	12.0	0.0	1.2	4.8	0.0	2.4	3.6	4.8	1.2
		30～59歳	388	9.0	7.5	3.1	0.5	4.6	3.9	4.1	4.6	4.4	4.9
		60歳～	375	1.6	4.5	2.7	0.0	4.3	1.1	0.0	4.5	6.4	4.0

(注) 太字は30%以上、網掛けは10%以上

【3 福岡市の図書館で行っているサービスの認知・利用状況 <利用頻度別>】

- 『月に1回以上』の利用がある人では、館内設置の機器や予約サービスなどは認知・利用率が高い。しかしながら、デジタル関連サービスや、返却ポスト、レファレンスサービスなど図書館利用に直結するサービスであっても、十分には知られていないものがある。
- 『2～3年に1回以上』利用している人では、「知っているが、利用したことはない」で、「インターネットで本の検索や予約」(39.0%)、「総合図書館と分館いずれでも予約本の受取、返却」(35.0%)が比較的割合が高く、便利なサービスが利用に繋がっていない面が見受けられる。
- 図書館で提供しているサービスの多くが、図書館を利用しない人には知られておらず、新たな利用者を増やしていくためには、図書館利用者に向けてのサービスの周知だけでなく、普段利用しない人に向けたサービスの周知方法を検討する必要がある。

単位：％

		調査数	知っているが、利用していない	知っているが、利用していない	知らない	無回答	『知っている』
(1)インターネットで本の検索や予約	全 体	2,300	14.3	27.5	53.7	4.5	41.8
	頻 度						
	月に1回以上	183	51.4	26.2	17.5	4.9	77.6
	2～3年に1回以上	602	25.2	39.0	34.1	1.7	64.2
	利用しなかった	1,489	5.4	23.2	66.8	4.5	28.6
(2)電子図書館での電子書籍サービス	全 体	2,300	2.4	17.8	74.9	4.9	20.2
	頻 度						
	月に1回以上	183	10.9	37.2	47.5	4.4	48.1
	2～3年に1回以上	602	3.7	29.1	65.1	2.2	32.8
	利用しなかった	1,489	0.9	10.9	83.1	5.0	11.8
(3)スマートフォン上でのデジタル貸出カード	全 体	2,300	1.1	10.4	83.7	4.8	11.5
	頻 度						
	月に1回以上	183	3.8	21.9	71.0	3.3	25.7
	2～3年に1回以上	602	1.8	15.3	80.7	2.2	17.1
	利用しなかった	1,489	0.5	7.1	87.4	5.0	7.6
(4)総合図書館と分館いずれでも予約本の受取、返却	全 体	2,300	17.1	23.8	53.5	5.6	40.9
	頻 度						
	月に1回以上	183	62.8	24.0	9.3	3.8	86.8
	2～3年に1回以上	602	31.1	35.0	30.2	3.7	66.1
	利用しなかった	1,489	6.0	19.5	69.0	5.4	25.5
(5)地下鉄駅など市内14箇所の返却ポスト、施設	全 体	2,300	8.8	16.5	69.4	5.3	25.3
	頻 度						
	月に1回以上	183	33.3	27.3	35.5	3.8	60.6
	2～3年に1回以上	602	17.3	26.4	53.3	3.0	43.7
	利用しなかった	1,489	2.5	11.3	81.0	5.2	13.8

		調査数	知っていることが	知らない利用しているが、	知らない	無回答	『知っている』	
(6)館内設置の自動貸出機で自分で貸出手続き	全 体	2,300	15.9	14.1	64.6	5.4	30.0	
	頻 利 用 度	月に1回以上	183	62.3	14.2	18.6	4.9	76.5
		2～3年に1回以上	602	31.2	24.1	41.7	3.0	55.3
		利用しなかった	1,489	4.2	10.3	80.2	5.4	14.5
(7)館内設置の自動返却機で窓口に並ばず返却	全 体	2,300	19.6	18.0	56.8	5.6	37.6	
	頻 利 用 度	月に1回以上	183	72.7	12.6	10.4	4.4	85.3
		2～3年に1回以上	602	38.0	28.9	30.1	3.0	66.9
		利用しなかった	1,489	5.7	14.4	74.1	5.8	20.1
(8)本や調べものの相談（レファレンスサービス）	全 体	2,300	8.6	23.2	62.8	5.4	31.8	
	頻 利 用 度	月に1回以上	183	24.6	37.2	33.3	4.9	61.8
		2～3年に1回以上	602	18.4	35.9	42.4	3.3	54.3
		利用しなかった	1,489	2.8	16.6	75.5	5.2	19.4
(9)イベントや子ども向けおはなし会の開催	全 体	2,300	7.3	38.9	48.3	5.5	46.2	
	頻 利 用 度	月に1回以上	183	18.0	62.3	14.2	5.5	80.3
		2～3年に1回以上	602	14.1	52.2	30.7	3.0	66.3
		利用しなかった	1,489	3.4	31.0	60.2	5.4	34.4
(10)文字が大きい大活字本（小説など）の貸出	全 体	2,300	2.4	20.7	71.4	5.4	23.1	
	頻 利 用 度	月に1回以上	183	9.8	48.6	36.6	4.9	58.4
		2～3年に1回以上	602	3.7	35.0	58.0	3.3	38.7
		利用しなかった	1,489	1.1	11.7	82.0	5.2	12.8
(11)絵本、紙芝居の貸出	全 体	2,300	11.9	31.7	50.9	5.5	43.6	
	頻 利 用 度	月に1回以上	183	35.5	39.3	20.2	4.9	74.8
		2～3年に1回以上	602	20.9	45.8	29.9	3.3	66.7
		利用しなかった	1,489	5.5	25.2	63.9	5.4	30.7
(12)映像ホール・シネラでの映画上映	全 体	2,300	6.5	30.7	57.1	5.7	37.2	
	頻 利 用 度	月に1回以上	183	18.0	50.3	24.6	7.1	68.3
		2～3年に1回以上	602	10.6	46.3	39.4	3.7	56.9
		利用しなかった	1,489	3.4	22.4	69.0	5.3	25.8
(13)福岡の歴史・行政・文学資料の閲覧	全 体	2,300	5.6	33.4	54.9	6.1	39.0	
	頻 利 用 度	月に1回以上	183	15.8	43.2	33.3	7.7	59.0
		2～3年に1回以上	602	10.5	47.7	37.5	4.3	58.2
		利用しなかった	1,489	2.4	26.9	65.3	5.5	29.3
(14)点字図書館	全 体	2,300	1.7	29.4	62.6	6.3	31.1	
	頻 利 用 度	月に1回以上	183	2.7	47.0	42.1	8.2	49.7
		2～3年に1回以上	602	2.8	42.7	50.2	4.3	45.5
		利用しなかった	1,489	1.0	22.3	71.0	5.7	23.3
(15)障がい者への無料郵送貸出サービス	全 体	2,300	0.8	14.3	78.7	6.2	15.1	
	頻 利 用 度	月に1回以上	183	3.3	25.1	63.4	8.2	28.4
		2～3年に1回以上	602	1.2	23.1	71.6	4.2	24.3
		利用しなかった	1,489	0.4	9.7	84.4	5.5	10.1

【4 図書館をより魅力的にするための充実が必要なサービスや設備

＜利用頻度別、性・年代別＞】（複数回答、5つまで）

- より魅力的な図書館とするために、本の充実だけでなく、雰囲気や居心地の良さを期待する意見も多く、訪れる市民が読書や映画鑑賞など思い思いに楽しみながら、くつろいだ時間を過ごせる場所として、図書館が持つ多彩な機能やサービスを高め、より多くの市民に知ってもらえるように、魅力を発信していく必要がある。

単位：％

		調査数	て本の種類や数が充実している	雰囲気や居心地がよい	駐車場が十分にある	借りたい本をすぐ借りられる	本場の貸出し・返却拠点のいい所（ブックポイント）	飲食ができるスペース	読書スペースの充実	公衆Wi-Fiの充実	静かに読書できる環境（サイレントルーム）	閉館時も予約した本を受け取れる	子どもと環境兼ねなく利用できる
全 体		2,300	36.0	32.9	29.4	27.1	26.9	20.5	20.0	16.0	15.7	12.9	12.5
利用頻度別	月に1回以上	183	64.5	29.5	24.6	44.3	29.0	19.1	25.1	16.4	18.0	15.8	19.7
	2～3年に1回以上	602	49.5	37.0	32.2	35.4	31.9	20.8	26.1	14.0	20.4	18.1	15.4
	利用しなかった	1,489	27.6	32.1	29.1	22.0	25.0	20.7	17.1	17.0	13.7	10.5	10.5
性・年代別	男性 計	913	33.8	30.9	31.3	24.8	21.6	18.2	18.5	16.9	15.0	12.4	10.1
	18～29歳	88	39.8	26.1	17.0	22.7	21.6	20.5	14.8	26.1	11.4	15.9	8.0
	30～59歳	420	38.1	34.0	35.7	28.3	24.0	17.4	18.8	20.2	13.6	15.2	15.5
	60歳～	394	27.9	29.2	29.7	21.6	19.3	18.3	19.5	11.2	17.8	8.6	4.8
	女性 計	1,354	37.7	34.6	28.4	29.0	31.0	22.2	21.3	15.5	16.3	13.3	14.2
	18～29歳	127	34.6	39.4	18.9	19.7	28.3	32.3	19.7	25.2	15.0	18.9	11.0
	30～59歳	658	44.4	37.4	34.5	29.6	35.4	25.4	21.1	17.8	17.5	16.9	21.3
	60歳～	555	30.3	30.5	23.4	30.3	26.5	16.0	21.4	10.8	15.5	7.7	6.8

		調査数	おすすめの本紹介などの情報が豊富	調べものや本を探す相談がしやすい	電子書籍の充実	図書館で職員が本をセレクトして貸し出す	イベントを定期的に実施している	話し、交流ができるスペース	おはなし会などの催し	その他	特になし	無回答
全 体		2,300	12.3	11.1	8.9	8.5	6.0	6.0	3.9	3.2	17.8	4.5
利用頻度別	月に1回以上	183	15.3	14.8	8.2	12.0	9.3	4.4	7.1	4.4	1.6	3.8
	2～3年に1回以上	602	15.1	12.5	11.0	9.6	7.0	8.0	4.5	4.3	4.7	3.0
	利用しなかった	1,489	10.8	10.3	8.2	7.7	5.3	5.4	3.3	2.6	25.4	4.2
性・年代別	男性 計	913	10.0	11.6	10.5	7.8	5.0	5.5	3.1	2.8	23.2	2.6
	18～29歳	88	11.4	12.5	6.8	10.2	4.5	6.8	4.5	3.4	20.5	3.4
	30～59歳	420	9.5	7.6	15.7	9.3	6.0	3.6	4.0	3.1	18.3	1.2
	60歳～	394	10.2	15.5	5.6	5.6	4.1	7.4	1.8	2.5	28.9	4.1
	女性 計	1,354	14.0	10.8	7.9	9.2	6.8	6.4	4.5	3.4	14.0	5.0
	18～29歳	127	10.2	8.7	11.0	11.8	5.5	11.0	4.7	2.4	12.6	-
	30～59歳	658	12.6	8.8	11.9	10.9	6.8	5.2	6.4	4.4	8.2	1.5
	60歳～	555	16.2	13.9	2.7	6.3	7.0	7.0	2.3	2.5	20.7	10.5

（注）太字は30%以上、網掛けは20%以上